

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 4 月 26 日現在

機関番号：13901

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2013

課題番号：23530999

研究課題名(和文) デューイの協働的探究教育理論に根ざした希望の教育学構築に関する研究

研究課題名(英文) The Construction of the Pedagogy of Hope based on Dewey's Educational Theory of Cooperative Inquiry

研究代表者

早川 操 (Hayakawa, Misao)

名古屋大学・教育学研究科(研究院)・教授

研究者番号：50183562

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,800,000円、(間接経費) 1,140,000円

研究成果の概要(和文)：本研究は、アメリカの教育学者ジョン・デューイが20世紀前半に構築した「協働的知性に基づいた探究教育理論」の構造とその展開を究明することによって、現代の教育改革理論に対する示唆や提案を考察することである。その研究成果は、第一に、デューイの実験的知性・協働的知性・学問の自由観に関する研究発表を日本デューイ学会で行い、論文が掲載された。第二に、デューイによる探究教育理論の観点から、現代の教育改革に関する提案と、高等教育改革についての発表を国際学会で行った。第三に、これらの研究活動をつうじて、現代におけるデューイの探究教育論に基づいた子どもや若者の想像的知性と希望の育成に関する発表を行った。

研究成果の概要(英文)：The aim of this research is to examine the basic structure of educational theory of inquiry based on John Dewey's theory of cooperative intelligence which was proposed during the middle of the twentieth century.

The research results are in the following. First, the basic function of his theory of experimental intelligence and cooperative intelligence and his view on academic freedom are presented at the annual meetings of John Dewey Society of Japan. Second, the proposals on the recent educational reform and higher education reform are presented at the international conferences at Fudan University, China and Seoul National University, South Korea. Third, the relevance of Dewey's theory of inquiry to the imaginative experience and intelligence of youth is reviewed.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学・教育学

キーワード：ジョン・デューイ 実験的知性 協働的知性 協働的探究教育 想像的経験 希望の教育学

1. 研究開始当初の背景

本研究は、現在進められている市場原理や競争原理に基づいた教育改革やその理論的基盤となるネオ・リベラリズムの教育理論に対するもう一つの理論的パラダイムとして、ジョン・デューイがアメリカの大恐慌以降の1930年代に展開した「協働的な探究教育理論」の特徴を調べることによって、協働原理に基づいた教育理論の構築の可能性について考察するとともに、その現代的意義を解明することが、わが国の教育改革に何らかの貢献をするのではないかと考えるようになったことが研究を始めるに至った理由である。この研究をつうじて、教育をめぐるさまざまな課題を解決するために具体的な改善策や改革の方策が提案され実施されている教育改革の現状やその背後にある教育理論について考察することにより、わが国における教育理論や教育実践の可能性を追究し、将来の教育改革の方向性について示唆や提案を得てみたいと考えるに至った。

2. 研究の目的

本研究の目的は、アメリカの教育学者ジョン・デューイが20世紀前半に構築した「協働的知性に基づいた探究教育理論」の構造とその展開を究明し、当時における「競争原理に基づいた教育」と「協働や共有経験に根ざした教育」に関するデューイの見解を検討することによって、現代の教育改革理論に対する示唆や提案を考察することである。この考察とともに、現代における「協働的探究教育理論パラダイム」の一環として、ケアリングの教育理論や希望の教育理論へのデューイの影響についても検証し、日本型「希望の教育学」の構築をめざすことをねらいとする。

3. 研究の方法

本研究計画は、ジョン・デューイの協働的探究教育理論の特徴を研究するために、3年間にわたってその理論的構造の解明、教育改革報告書の実証的分析、現代における理論的継承としての教育的ケアリング理論や希望の教育学との比較分析、および日本型「希望

の教育学」の理論的構築に取り組むことである。

その方法論としては、教育思想の構造的分析、教育改革に関する調査報告書の実証的分析、教育理論の比較思想的アプローチ、わが国の教育現状を踏まえた実践的理論の構築などを採用する。

4. 研究成果

研究成果としては、第一に、デューイの教育理論と探究理論の理論的構造の分析を中心に行い、バートランド・ラッセルの大学解雇をめぐる学問の自由論の分析、社会的探究における協働的知性の役割に関する考察、知識の獲得における実験的知性の役割についての検討に取り組んだ。

第二に、現代の学校教育改革との関連で、デューイの探究理論と美的理論の接点を検討することによる美的・反省的な探究理論の考察、シカゴ大学実験室学校におけるデューイの教育実践やカリキュラムの分析、デューイの探究理論に基づいた活動が若者の想像的経験の発展に及ぼす影響の検討などに取り組んだ。

第三に、現代高等教育改革においてデューイの問題解決型・探究型教育がもつ意義を検討するため、実験的探究や協働的探究のプロセスにおける構造分析に根ざした学習理論についての考察や、探究や問題解決の過程において習得する感性的知性的な能力の転移可能性についての分析などに取り組んだ。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 6 件)

早川操「デューイ「実験室学校」における反省的美的経験による教育 オキュベーション・カリキュラムを通じての想像力の育成」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第60巻第2号、2014年3月、1-18頁。

Misao Hayakawa, "The Search for a New Role of Liberal Education in an Age of Globalization: The Challenge of Generic Skills to Liberal Knowledge at Japanese Colleges and Universities," *Asia Pacific Education Review*, Vol. 15, March, 2014, pp. 89-97. (査読有)

早川操「デューイの心理学にみる実験的知性観の萌芽」『日本デューイ学会紀要』第54号、2013年10月、53-63頁。(査読有)

早川操「デューイの社会的探究における協働的知性の役割と展開」『日本デューイ学会紀要』第53号、2012年10月、199-209頁。(査読有)

Misao Hayakawa, "The Search for Japanese Higher Education's Role in the Construction of Global Universities in an Age of 'Japan as No.3,'" 『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学)』第58巻第1号、2011年10月、13-25頁。

早川操「デューイによるバートランド・ラッセル判決批判 学問の自由における知性と探究の意義と限界」『日本デューイ学会紀要』第52号、2011年10月、59-69頁。(査読有)

[学会発表](計 7件)

早川操「反省的美的経験による想像力の育成 デューイ実験室学校の実践事例分析より」日本教育方法学会第49回大会、埼玉大学、2013年10月6日。

早川操「デューイの美的経験論における実験主義的特徴 - ひとつの経験と質的思考の意義再考 - 」日本デューイ学会第57回研究大会、新潟青陵大学、2013年9月22日。

Misao Hayakawa, "Japanese University Education in Transition: The Search for A New Paradigm in Teaching and Learning," The Conference of Innovating Teaching for Transformative Learning, Center for Faculty

Development, Fudan University, May 18, 2013.

早川操「青少年の成長過程における活動体験の意義 - デューイの想像的経験論からの示唆 - 」国立青少年教育振興機構青少年教育研究センター、2012年11月26日。

Misao Hayakawa, "The Search for a New Role of Liberal Education in an Age of Globalization: The Challenge of Generic Skills to Liberal Knowledge at Japanese Colleges and Universities," The 13th International Conference on Education Research, Seoul National University, Korea, October 19, 2012.

早川操「デューイの『心理学』に見る実験的知性観の萌芽」日本デューイ学会第56回研究大会、東洋大学、2012年9月23日。

早川操「デューイの社会的探究における協働的知性の役割と展開」日本デューイ学会第55回研究大会、関西学院大学、2011年10月2日。

[図書](計 0件)

[産業財産権]
出願状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況(計 0件)

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

[その他]
ホームページ等

<http://kenpro.mynu.jp:8001/Profiles/000>

2/0000284/profile.html

6. 研究組織

(1) 研究代表者

早川操 (名古屋大学大学院教育発達科学研究
科・教授)

研究者番号 : 50183562

(2) 研究分担者

()

研究者番号 :

(3) 連携研究者

()

研究者番号 :